

# 長 崎 県 観 光 統 計

平成 30 年（1 月～12 月）



長崎県文化観光国際部 観光振興課

## この統計表の見方

### ○用語の解説とそれらの相関関係

(A) 観光客延べ数・・・観光の活動量を日単位で表すもので、当該地を訪れた観光客の滞在日数の合計としての入込者数で表される。

<算式で表すと>

$$\text{観光客延べ数} = \text{宿泊客延べ滞在数} + \text{日帰り客数}$$

(B) 宿泊客延べ滞在数・・・次の2つの要素を合計したもので、当該地に来訪した宿泊をとまなう観光客の滞在日数の合計としての入込者数で表される。

<要素>

(1) 宿泊客実数・・・何泊したかを問わず当該地に宿泊した観光客の合計

(2) 延べ宿泊客数・・・当該地の宿泊観光客の延べ宿泊数の合計

<算式で表すと>

$$(3) \text{ 宿泊客延べ滞在数} = \text{宿泊客実数} + \text{延べ宿泊客数}$$

平均宿泊数・・・当該地の宿泊観光客が平均何泊するかを表すもので、必ず1(泊)以上として表される。

<算式で表すと>

$$\text{平均宿泊数} = \text{延べ宿泊客数} \div \text{宿泊客実数}$$

(C) 観光客実数 = 日帰り客数 + 宿泊客実数  
= 県内客 + 県外客

### 【具体例】

☆1人が2泊3日した場合

(1) 宿泊客実数・・・1人

(2) 延べ宿泊客数・・・2泊

(3) 宿泊客延べ滞在数・・・3人

## ○調査概要

作成にあたっては、宿泊施設における聞き取りや県内各ブロックの主要観光施設の入込状況、航路・空路の乗降客数等を考慮し、平成30年12月31日現在の観光客数について、各市町が推計したものを県において集計したものである。

※なお、端数処理の関係上、合計と一致しないものがある。

## ○地域ブロック区分

この統計表における地域ブロック区分は以下のとおりである。

- ① 長崎・西彼：長崎市、長与町、時津町
- ② 佐世保・西海・東彼・北松  
：佐世保市、西海市、東彼杵町、川棚町、波佐見町、佐々町
- ③ 平戸・松浦：平戸市、松浦市
- ④ 諫早・大村：諫早市、大村市
- ⑤ 島原半島：島原市、雲仙市、南島原市
- ⑥ 五島：五島市、新上五島町、小値賀町
- ⑦ 壱岐：壱岐市
- ⑧ 対馬：対馬市

## ○再算定について

本年は、全市町において統計手法の見直し等を行ったため、平成29年の公表数値について再算定を行っている。

## 平成30年長崎県観光統計

### 長崎県の観光客延べ数（平成30年1～12月）

**35,502,250人（対前年比+1.1%）**

平成29年の35,120,787人<sup>（注）</sup>と比べ、381,463人の増加

- ・観光客延べ数は、統計をとりはじめた昭和47年以降最多であった平成29年を上回り、2年連続で過去最高となった。

#### ●概況

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」（以下、「潜伏キリシタン関連遺産」という。）の世界文化遺産登録効果により構成資産や周辺施設への来訪者が大幅に増加したこと、クルーズ客船の乗客乗員数が5年連続で過去最高となったことなどから、観光客延べ数は38万人増加し、過去最高であった平成29年を上回る3,550万人（対前年比+1.1%）となった。

宿泊客は、外国人宿泊客が過去最高となったことに加え、世界文化遺産登録効果などから、延べ宿泊客数は、昨年から19万人増の836万人（対前年比+2.3%）となった。

一方で、日帰り客は、「潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産への来訪者やクルーズ客船の乗客乗員数が増加したものの、前年に集客力のある展覧会が開催されていたことや夏場の猛暑の影響により屋外型観光施設の入場者数が減少したことなどから、昨年から1.5万人増の2,048万人（対前年比+0.1%）と微増にとどまった。

観光客数比較

（単位：人）

	H29	H30	対前年増減	対前年比
観光客延べ数	35,120,787	35,502,250	381,463	1.1%
日帰り客数	20,469,414	20,484,722	15,308	0.1%
宿泊客延べ滞在数	14,651,373	15,017,528	366,155	2.5%

（注）全市町において統計手法の見直し等を行ったことから、平成29年の数値は再算定数値を用いている。以下の表においても同じ。

## 1. 長崎県の観光動向

### (1) 四半期毎の観光動向（※長崎県観光動向調査：宿泊客数の前年比）

#### 【1～3月】（+7.5%）

新規施設や昨年よりリニューアル工事などで休館していた大型施設などが堅調で、1～3月期全体では対前年同期比+7.5%と4期連続の増となった。特に、昨年は1月末であった旧正月が今年は2月となったことにより、大型イベントの開催日程や東アジアの旧正月休暇の影響もあって、2月は宿泊客が大幅に増加した。

#### 【4～6月】（+2.4%）

大型施設の閉館・休館により対前年減となった地域はあったものの、県全体としては新規施設や昨年休館していた施設のリニューアルオープンの影響が大きく、また、ビジネス需要が堅調であったため、4～6月期全体では対前年同期比+2.4%となった。月別に見ると、ゴールデンウィークの日並びの関係で、4月は堅調であったが、5月は対前年減となった。

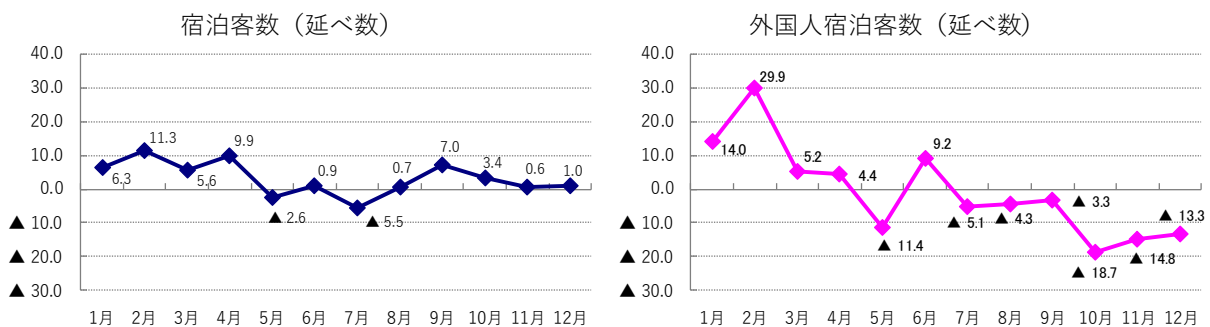
#### 【7～9月】（+0.5%）

平成30年7月豪雨や相次いだ台風による旅行キャンセル等の影響が大きく、また、大型施設の閉館・休館の影響を受けた地域はあったものの、ビジネス需要が引き続き堅調で、9月から「潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産登録の宿泊客増の効果がみられるようになってきたことから7～9月期全体では対前年同期比+0.5%となった。

#### 【10～12月】（+1.7%）

外国人団体客の減少や大型施設の閉館・休館の影響などがあったものの、「潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産登録効果に加え、大型施設のリブランドオープンや県全体としてはビジネス需要が比較的堅調であったことなどから、10～12月期全体では対前年同期比+1.7%となった。

長崎県観光動向調査における月別対前年増減率の推移（%）



## (2) 日帰り、宿泊別観光客の動向

日帰り客は、前年に「ジブリの大博覧会」が開催されていたことや、夏場の猛暑の影響等によるハウステンボスの入場者数減などが見受けられたものの、「潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産や周辺施設への来訪者が大幅に増加したこと、クルーズ客船の乗客乗員数が過去最高となったことなどにより、対前年比+0.1%（+1.5万人）となった。

宿泊客は、外国人宿泊客数が過去最高となったこと、「潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産登録効果などから、延べ宿泊客数が対前年比+2.3%（+19.2万人）、宿泊客延べ滞在数が対前年比+2.5%（+36.6万人）となった。

日帰り・宿泊別観光客数

(単位：人)

	H29	H30	対前年増減	対前年比
日 帰 り 客 数	20,469,414	20,484,722	15,308	0.1%
宿 泊 客 延 べ 滞 在 数	14,651,373	15,017,528	366,155	2.5%
延 べ 宿 泊 客 数	8,171,071	8,362,945	191,874	2.3%

## (3) 観光客数の推移

平成26年は、長崎がんばらんば国体・長崎がんばらんば大会の競技が県内各地で開催されたことや、世界文化遺産候補となった観光施設への誘客が堅調であったことから観光客の増加が見られた。

平成27年は、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録されるなど、世界遺産候補も含めた注目度の高まりをはじめ、長崎市、ハウステンボスが引き続き好調を維持するとともに、ふるさと割の効果などで宿泊客が大幅に増加し、観光客延べ数は4年連続の増となった。

平成28年は、クルーズ客船の入港が順調に拡大したものの、熊本地震の影響が大きく、九州ふっこう割やねんりんピック、長崎 DC などがあったものの、平成23年以来5年ぶりに観光客延べ数は減少に転じた。

平成29年は、熊本地震の影響から持ち直しに加え、クルーズ客船の入港が昨年に引き続き大幅に伸び、訪日観光需要の高まりにより外国人宿泊客数が増加したことなどから、観光客延べ数は増となった。

平成30年は、「潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産効果により構成資産や周辺施設の来訪者が増加したこと、クルーズ客船の乗客乗員数が増加したことなどから、観光客延べ数は増となった。

観光客延べ数の伸び率推移

(単位：%)

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
対前年比	0.9	2.7	▲ 3.7	4.3	5.5	4.8	2.7	▲ 2.7	4.2	1.1

#### (4) 地域ブロック別の動向

##### ①長崎・西彼ブロック 1,066.8 万人、対前年比+0.2% (+2.5 万人)

長崎市：ランタンフェスティバルが過去最高の来場者数を記録し、「出津教会堂」「大野教会堂」の来訪者は大幅に増加したものの、前年に長崎歴史文化博物館で「ジブリの大博覧会」が開催されていたことや、台風 25 号の被害に伴う端島（軍艦島）の上陸停止、クルーズ客船の入港数減などにより、日帰り客数は対前年比▲2.9%（▲13.1 万人）と減少した。一方、宿泊客は、リニューアルオープンした大型宿泊施設が堅調であったこと、「潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産登録効果などから、宿泊客延べ滞在数は対前年比+2.7%（+16.1 万人）となった。観光客延べ数は、宿泊客の増加が日帰り客の減少を上回ったことから、対前年比+0.3%（+3.0 万人）となった。

##### ②佐世保・西海・東彼・北松ブロック 1,006.3 万人、対前年比+1.7% (+16.9 万人)

佐世保市：7、8 月の多客期における猛暑の影響や外国人ツアー客の減少などにより、ハウステンボスの入場者数は伸び悩んだものの、クルーズ船の入港が 108 隻と前年比 28.6%の増であったこと、台風で昨年中止であったアメリカンフェスティバルが開催されたこと、展海峰の来訪者数が増加したことなどから、日帰り客は対前年比+3.4%（+13.3 万人）、観光客延べ数は対前年比+2.5%（+18.3 万人）となった。

西海市：長崎バイオパークや七ツ釜鍾乳洞など主要施設の入場者数は増加したものの、長崎オランダ村の外国人ツアー客が減少したことなどから、観光客延べ数は対前年比▲4.6%（▲4.3 万人）となった。

波佐見町：波佐見陶器まつりの来場者数は過去最高を記録したものの、観光施設等の客足が伸び悩んだため、観光客延べ数は対前年比▲0.4%（▲0.4 万人）となった。

##### ③平戸・松浦ブロック 294.8 万人、対前年比+3.8% (+10.8 万人)

平戸市：「潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産登録に伴う関係施設への来訪者の増加や、昨年リニューアルオープンした大型宿泊施設の通年営業、交通アクセス対策の効果などにより、観光客延べ数は対前年比+2.0%（+3.8 万人）となった。

松浦市：全国鯖サミットと併催した松浦水軍まつりの来場者数が過去最高を記録したこと、海の駅「とれたて福の島」がリニューアルオープンしたことなどから、観光客延べ数は対前年比+7.6%（+7.0 万人）となった。

④諫早・大村ブロック 472.2 万人、対前年比+2.3% (+10.6 万人)

諫 早 市：V・ファーレン長崎の J1 昇格効果や、イベント時の天候に恵まれたこと、昨年後半に新規オープンした宿泊施設が堅調であったことなどから、観光客延べ数は対前年比+7.2% (+18.3 万人) となった。

大 村 市：大村公園など主要観光施設の利用者は増加しているものの、前年に開催されたイベントの反動減などから、日帰り客が対前年比▲4.0%と減少し、観光客延べ数は対前年比▲3.8% (▲7.7 万人) となった。

⑤島原半島ブロック 502.9 万人、対前年比▲3.3% (▲17.4 万人)

島 原 市：4 月にリニューアルオープンした雲仙岳災害記念館の利用者数が大幅に増加したこと、スポーツ合宿等の誘致が奏功したことなどから、観光客延べ数は対前年比+5.0% (+5.1 万人) となった。

雲 仙 市：大型宿泊施設の閉館・休館の影響が大きく、ほっとふっと 105 や仁田峠など主要観光地の来訪者も減少したことから、観光客延べ数は対前年比▲6.2% (▲18.9 万人) となった。

南島原市：「原城跡」の来訪者や、外国人宿泊客は増加しているものの、島原半島内の大型宿泊施設の閉館・休館の影響等により主要観光施設の利用者数が減少したことなどから、観光客延べ数は対前年比▲3.2% (▲3.6 万人) となった。

⑥五島ブロック 66.3 万人、対前年比+6.9% (+4.3 万人)

五 島 市：「潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産である「旧五輪教会堂」「江上天主堂」の来訪者が大幅に増加したこと、有人国境離島法を活用した滞在型旅行商品の販売が伸びたことなどから、観光客延べ数は対前年比+10.6% (+3.9 万人) となった。

新上五島町：「潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産である「頭ヶ島天主堂」に加え、青砂ヶ浦天主堂の来訪者が大幅に増加したこと、しまとく通貨とのタイアップによる旅行商品の販売が伸びたことなどから、観光客延べ数は対前年比+4.1% (+0.8 万人) となった。



⑦ 壱岐ブロック 38.5 万人、対前年比▲3.0% (▲1.2 万人)

壱岐市：インバウンド誘致の取り組みにより外国人宿泊客は増加したものの、ツアー商品の売れ行きが伸び悩んだことなどから、観光客延べ数は対前年比▲3.0% (▲1.2 万人) となった。

⑧ 対馬ブロック 102.3 万人、対前年比+12.9% (+11.7 万人)

対馬市：韓国人観光客が引き続き大幅に伸びたこと、宿泊施設の新規開業に伴い宿泊客が増加していることなどから、観光客延べ数は対前年比+12.9% (+11.7 万人) となった。

地域ブロック別観光客数

(単位：人、泊)

	H30					H29	観光客延べ数		
	日帰り客数	宿泊客実数	延べ 宿泊客数	宿泊客 延べ滞在数	平均 宿泊数	観光客 延べ数	観光客 延べ数	対前年 増減	対前年比
県 計	20,484,722	6,654,583	8,362,945	15,017,528	1.26	35,502,250	35,120,787	381,463	1.1%
① 長崎・西彼	4,521,702	2,696,060	3,450,430	6,146,490	1.28	10,668,192	10,643,384	24,808	0.2%
② 佐世保・西海 東彼・北松	6,368,133	1,666,458	2,028,680	3,695,138	1.22	10,063,271	9,894,164	169,107	1.7%
③ 平戸・松浦	2,162,249	349,941	435,634	785,575	1.24	2,947,824	2,840,053	107,771	3.8%
④ 諫早・大村	3,622,131	458,525	641,769	1,100,294	1.40	4,722,425	4,616,418	106,007	2.3%
⑤ 島原半島	3,382,078	759,582	887,671	1,647,253	1.17	5,029,331	5,203,419	▲174,088	▲3.3%
⑥ 五 島	194,617	190,159	278,351	468,510	1.46	663,127	620,115	43,012	6.9%
⑦ 壱 岐	114,471	116,077	154,261	270,338	1.33	384,809	396,855	▲12,046	▲3.0%
⑧ 対 馬	119,341	417,781	486,149	903,930	1.16	1,023,271	906,379	116,892	12.9%

## (5) 外国人観光客（宿泊客）の動向

国においては、ビザ要件の緩和などのこれまでの様々な取組により、訪日外国人旅行者数が6年連続で過去最高を更新する中、本県においては、台湾人ツアー客が減少したものの、対馬への韓国人客の入込が過去最高を引き続き記録し、個人旅行需要が高まる中国人客が増加したことなどから、延べ宿泊客数は対前年比+4.9%（+4.3万人）、宿泊客延べ滞在数は対前年比+6.6%（+10.2万人）とどちらも過去最高を記録した。

なお、クルーズ客船については、入港隻数は337隻と過去最高であった前年の365隻を下回ったものの、乗員乗客数は過去最高を5年連続で記録し、前年比+4.5%の125.2万人（+5.3万人）となった。

国・地域別外国人宿泊客数

(単位：人)

	H29		H30		延べ宿泊客数		宿泊客延べ滞在数	
	延べ 宿泊客数	宿泊客 延べ滞在数	延べ 宿泊客数	宿泊客 延べ滞在数	対前年 増減	対前年 対前年比	対前年 増減	対前年 対前年比
合 計	886,428	1,548,695	929,587	1,650,611	43,159	4.9%	101,916	6.6%
ア ジ ア	736,829	1,306,518	785,310	1,420,135	48,481	6.6%	113,617	8.7%
中 国	67,425	114,905	78,620	136,737	11,195	16.6%	21,832	19.0%
台 湾	128,146	231,872	115,391	213,097	▲12,755	▲10.0%	▲18,775	▲8.1%
香 港	31,649	57,129	33,319	60,633	1,670	5.3%	3,504	6.1%
韓 国	471,750	837,985	518,416	940,867	46,666	9.9%	102,882	12.3%
シンガポール	7,600	13,041	10,613	18,293	3,013	39.6%	5,252	40.3%
タ イ	11,729	20,531	10,383	18,505	▲1,346	▲11.5%	▲2,026	▲9.9%
そ の 他	18,530	31,055	18,568	32,003	38	0.2%	948	3.1%
ヨ ー ロ ッ パ	36,109	59,194	39,232	65,765	3,123	8.6%	6,571	11.1%
イ ギ リ ス	4,596	7,629	5,774	9,793	1,178	25.6%	2,164	28.4%
フ ラ ン ス	3,347	5,554	5,454	9,189	2,107	63.0%	3,635	65.4%
ド イ ツ	0	0	8,444	14,131	8,444	皆増	14,131	皆増
そ の 他	28,166	46,011	19,560	32,652	▲8,606	▲30.6%	▲13,359	▲29.0%
北 ア メ リ カ	64,850	97,226	66,821	98,704	1,971	3.0%	1,478	1.5%
ア メ リ カ	61,870	92,259	60,516	89,307	▲1,354	▲2.2%	▲2,952	▲3.2%
カ ナ ダ	2,623	4,368	5,406	7,882	2,783	106.1%	3,514	80.4%
そ の 他	357	599	899	1,515	542	151.8%	916	152.9%
南 ア メ リ カ	2,912	4,827	1,142	1,878	▲1,770	▲60.8%	▲2,949	▲61.1%
オ セ ア ニ ア	5,873	9,776	8,282	14,087	2,409	41.0%	4,311	44.1%
オーストラリア	4,651	7,741	6,966	11,855	2,315	49.8%	4,114	53.1%
そ の 他	1,222	2,035	1,316	2,232	94	7.7%	197	9.7%
その他の国・地域	1,997	3,540	5,842	10,821	3,845	192.5%	7,281	205.7%
国 籍 不 明	37,858	67,614	22,958	39,221	▲14,900	▲39.4%	▲28,393	▲42.0%

(注) 平成30年から調査対象国にドイツを追加している。平成29年以前はヨーロッパその他に含む。

### 《参考》クルーズ客船入港実績推移

(単位：隻、人)

	H26	H27	H28	H29	H30
入 港 隻 数	92	180	273	365	337
外 航	82	164	254	346	323
内 航	10	16	19	19	14
乗 客 乗 員 数	220,837	500,866	837,096	1,198,901	1,252,379
外 航	214,852	490,375	822,873	1,188,284	1,242,896
内 航	5,985	10,491	14,223	10,617	9,483

## (6) 修学旅行宿泊者数の動向

平成30年の修学旅行宿泊者数は、一昨年の熊本地震発生に伴う行先変更による大幅減の影響から回復しつつあり、また、誘致活動や体験民泊の充実によって、対前年比+1.7% (+0.8万人) となった。

修学旅行宿泊者数

(単位：人)

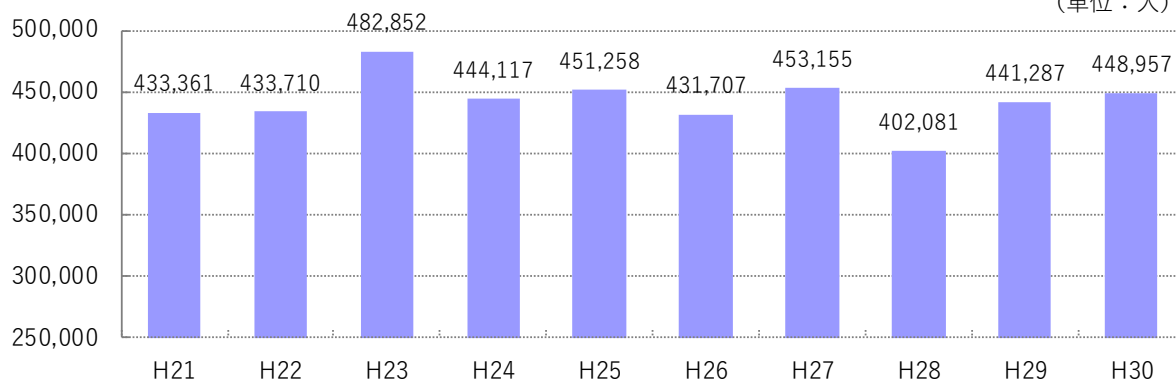
	H28	H29	H30	対前年増減	対前年比	構成比
県 計	402,081	441,287	448,957	7,670	1.7%	100.0%
長 崎 市	274,600	294,800	289,200	▲ 5,600	▲ 1.9%	64.4%
佐 世 保 市	66,217	65,630	76,407	10,777	16.4%	17.0%
西 海 市	40	142	76	▲ 66	▲ 46.5%	0.0%
川 棚 町	2,733	3,185	3,025	▲ 160	▲ 5.0%	0.7%
平 戸 市	9,288	13,046	9,348	▲ 3,698	▲ 28.3%	2.1%
松 浦 市	10,671	15,619	17,873	2,254	14.4%	4.0%
諫 早 市	1,227	1,816	2,715	899	49.5%	0.6%
大 村 市	949	884	811	▲ 73	▲ 8.3%	0.2%
島 原 市	4,953	6,770	9,746	2,976	44.0%	2.2%
雲 仙 市	14,701	17,193	15,114	▲ 2,079	▲ 12.1%	3.4%
南 島 原 市	6,060	9,387	11,815	2,428	25.9%	2.6%
五 島 市	4,253	6,322	6,796	474	7.5%	1.5%
小 値 賀 町	1,303	649	582	▲ 67	▲ 10.3%	0.1%
壱 岐 市	4,939	5,669	5,321	▲ 348	▲ 6.1%	1.2%
対 馬 市	147	175	128	▲ 47	▲ 26.9%	0.0%

(注1) 市町調査(聞き取り)による延べ宿泊客数(実績がある市町のみ掲載)。

(注2) 長崎市については、市発表の団体客数(学生客)の数値であるため、日帰り客を含む。

修学旅行宿泊者数の推移 (H21~H30)

(単位：人)



## 2. 長崎県の観光消費額の動向

### 平成 30 年の観光消費額

観光消費額 3,778 億円（対前年比 +0.4%）

※平成 30 年 1 月から 12 月まで

#### ○一人あたりの平均消費額

【日帰り客】 8,076円（対前年比▲2.6%）

【宿泊客】 31,921円（対前年比+0.02%）

平成 30 年の観光消費額は、昨年の 3,765 億円を上回り、3,778 億円（対前年比+0.4%）となった。

日帰り客、宿泊客別に見ると、日帰り客は、1,654 億円（対前年▲2.5%）となり、宿泊客は 2,124 億円（対前年比+2.7%）となった。

また、平均単価を見ると、日帰り客は 8,076 円（対前年比▲2.6%）、宿泊客は 31,921 円（対前年比+0.02%）であった。

#### 観光消費額

（単位：百万円）

	H29	H30	対前年増減	対前年比
観光消費額	376,483	377,850	1,367	0.4%
日帰り客	169,655	165,431	▲4,224	▲2.5%
宿泊客	206,828	212,419	5,590	2.7%
平均単価 <一人あたりの平均消費額> （単位：円）				
日帰り客	8,288	8,076	▲212	▲2.6%
宿泊客	31,916	31,921	5	0.02%

（注）H30 年から平均単価は一人あたりの平均消費額を掲載している。H29 年以前は一人 1 日あたりの平均消費額を掲載。

#### 観光消費額の伸び率推移

（単位：%）

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
対前年比	▲6.9	2.6	▲1.3	6.6	13.1	4.4	12.3	▲3.9	7.3	0.4

(参考) 平成30年市町別観光客数

(単位：人、%)

市町	区分	観光客延べ数									観光客実数				
		日帰り客数	宿泊客実数	延べ宿泊客数	宿泊客延べ滞在数	平均宿泊数	観光客延べ数	29年延べ数※	前年比	増減	県内客	県外客	観光客実数	29年実数※	前年比
県	計	20,484,722	6,654,583	8,362,945	15,017,528	1.26	35,502,250	35,120,787	1.1	381,463	11,383,707	15,755,598	27,139,305	26,949,716	0.7
①	長崎・西彼	4,521,702	2,696,060	3,450,430	6,146,490	1.28	10,668,192	10,643,384	0.2	24,808	994,635	6,223,127	7,217,762	7,234,088	▲0.2
②	佐世保・西海・東彼・北松	6,368,133	1,666,458	2,028,680	3,695,138	1.22	10,063,271	9,894,164	1.7	169,107	3,525,545	4,509,046	8,034,591	7,911,452	1.6
③	平戸・松浦	2,162,249	349,941	435,634	785,575	1.24	2,947,824	2,840,053	3.8	107,771	1,070,721	1,441,469	2,512,190	2,441,579	2.9
④	諫早・大村	3,622,131	458,525	641,769	1,100,294	1.40	4,722,425	4,616,418	2.3	106,007	3,528,274	552,382	4,080,656	4,006,014	1.9
⑤	島原半島	3,382,078	759,582	887,671	1,647,253	1.17	5,029,331	5,203,419	▲3.3	▲174,088	2,021,357	2,120,303	4,141,660	4,276,902	▲3.2
⑥	五島	194,617	190,159	278,351	468,510	1.46	663,127	620,115	6.9	43,012	169,102	215,674	384,776	360,289	6.8
⑦	志岐	114,471	116,077	154,261	270,338	1.33	384,809	396,855	▲3.0	▲12,046	37,284	193,264	230,548	235,896	▲2.3
⑧	対馬	119,341	417,781	486,149	903,930	1.16	1,023,271	906,379	12.9	116,892	36,789	500,333	537,122	483,496	11.1
①	長崎市	4,389,800	2,665,600	3,398,758	6,064,358	1.28	10,454,158	10,424,392	0.3	29,766	910,146	6,145,254	7,055,400	7,077,700	▲0.3
	長与町	76,421	0	0	0	-	76,421	75,465	1.3	956	50,285	26,136	76,421	75,465	1.3
	時津町	55,481	30,460	51,672	82,132	1.70	137,613	143,527	▲4.1	▲5,914	34,204	51,737	85,941	80,923	6.2
②	佐世保市	4,001,085	1,558,104	1,898,022	3,456,126	1.22	7,457,211	7,273,781	2.5	183,430	2,112,265	3,446,924	5,559,189	5,421,545	2.5
	西海市	800,828	38,902	59,037	97,939	1.52	898,767	942,105	▲4.6	▲43,338	486,363	353,367	839,730	886,003	▲5.2
	東彼杵町	65,923	2,526	2,625	5,151	1.04	71,074	66,523	6.8	4,551	55,443	13,006	68,449	65,067	5.2
	川棚町	420,104	22,840	24,910	47,750	1.09	467,854	447,423	4.6	20,431	292,234	150,710	442,944	418,987	5.7
	波佐見町	949,963	43,590	43,590	87,180	1.00	1,037,143	1,041,295	▲0.4	▲4,152	455,048	538,505	993,553	997,478	▲0.4
	佐々町	130,230	496	496	992	1.00	131,222	123,037	6.7	8,185	124,192	6,534	130,726	122,372	6.8
③	平戸市	1,378,252	262,056	314,205	576,261	1.20	1,954,513	1,916,783	2.0	37,730	740,278	900,030	1,640,308	1,639,224	0.1
	松浦市	783,997	87,885	121,429	209,314	1.38	993,311	923,270	7.6	70,041	330,443	541,439	871,882	802,355	8.7
④	諫早市	2,022,971	299,590	420,765	720,355	1.40	2,743,326	2,559,857	7.2	183,469	2,069,402	253,159	2,322,561	2,162,022	7.4
	大村市	1,599,160	158,935	221,004	379,939	1.39	1,979,099	2,056,561	▲3.8	▲77,462	1,458,872	299,223	1,758,095	1,843,992	▲4.7
⑤	島原市	668,355	165,971	223,666	389,637	1.35	1,057,992	1,007,150	5.0	50,842	387,953	446,373	834,326	790,773	5.5
	雲仙市	1,939,822	425,393	486,516	911,909	1.14	2,851,731	3,040,244	▲6.2	▲188,513	1,218,085	1,147,130	2,365,215	2,520,061	▲6.1
	南島原市	773,901	168,218	177,489	345,707	1.06	1,119,608	1,156,025	▲3.2	▲36,417	415,319	526,800	942,119	966,068	▲2.5
⑥	五島市	124,426	116,618	168,495	285,113	1.44	409,539	370,447	10.6	39,092	95,694	145,350	241,044	219,917	9.6
	新上五島町	59,554	61,011	93,793	154,804	1.54	214,358	205,888	4.1	8,470	64,141	56,424	120,565	113,857	5.9
	小値賀町	10,637	12,530	16,063	28,593	1.28	39,230	43,780	▲10.4	▲4,550	9,267	13,900	23,167	26,515	▲12.6
⑦	志岐市	114,471	116,077	154,261	270,338	1.33	384,809	396,855	▲3.0	▲12,046	37,284	193,264	230,548	235,896	▲2.3
⑧	対馬市	119,341	417,781	486,149	903,930	1.16	1,023,271	906,379	12.9	116,892	36,789	500,333	537,122	483,496	11.1

※「29年延べ数」及び「29年実数」は、再算定後の数値である。